

# 福島第一原子力発電所

## 廃炉・汚染水対策に関する取り組みについて ～情報発信・コミュニケーション～

---

2019年7月1日

東京電力ホールディングス株式会社

# 目次

---

1. 廃炉・汚染水対策に関する情報発信・コミュニケーションについて
2. 教育界とのコミュニケーション ～ご視察を通じた次世代への理解活動～
3. 東京電力廃炉資料館の開館

【参考】風評への対応 ～「発見！ふくしま」キャンペーンの実施

# 1. 廃炉・汚染水対策に関する情報発信・コミュニケーションについて

地域の皆さま、広く社会の皆さまに、廃炉の進捗・汚染水対策の状況をわかりやすくお伝えるため、以下の取り組みを実施。

- 動画コンテンツ「福島第一原子力発電所 事故後8年目の歩み（2019年3月）」を公開、「福島第一原子力発電所は、今」～あの日から、明日へ～（ver.2019.6）」を更新。
- ソーシャルメディア（フェイスブックやYouTubeなど）、メールマガジンを活用し、国内・海外に広く情報を発信。



福島第一原子力発電所 事故後8年目の歩み



「福島第一原子力発電所は、今」～あの日から、明日へ～（ver.2019.6）

# 1. 廃炉・汚染水対策に関する情報発信・コミュニケーションについて

## 廃炉作業を解説する動画ならびにWebページの公開

- 2号機原子炉格納容器内における初の接触調査、3号機使用済燃料プールからの取り出し開始など、社会的関心の高い情報を、動画やWebページで発信した。

動画



原子炉格納容器内における初の接触調査～福島第一原子力発電所 2号機（2019年2月28日公開）

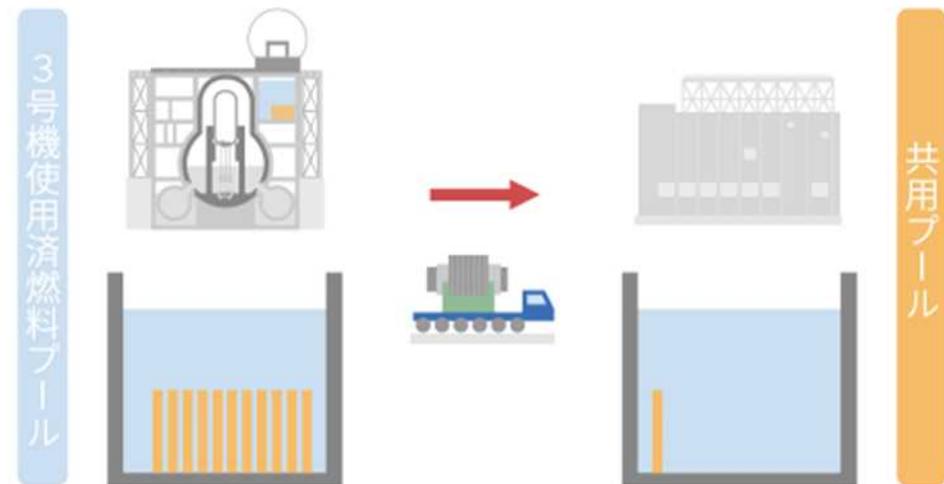


高さ120Mを半分に解体～福島第一原子力発電所 1・2号機排気筒解体（2019年5月9日公開）

Webページ

3号機の状況

共用プールへの移送が完了した燃料（体）	7 / 566
2019年4月25日現在	
内訳 新燃料（体）	7 / 52
使用済燃料（体）	0 / 514

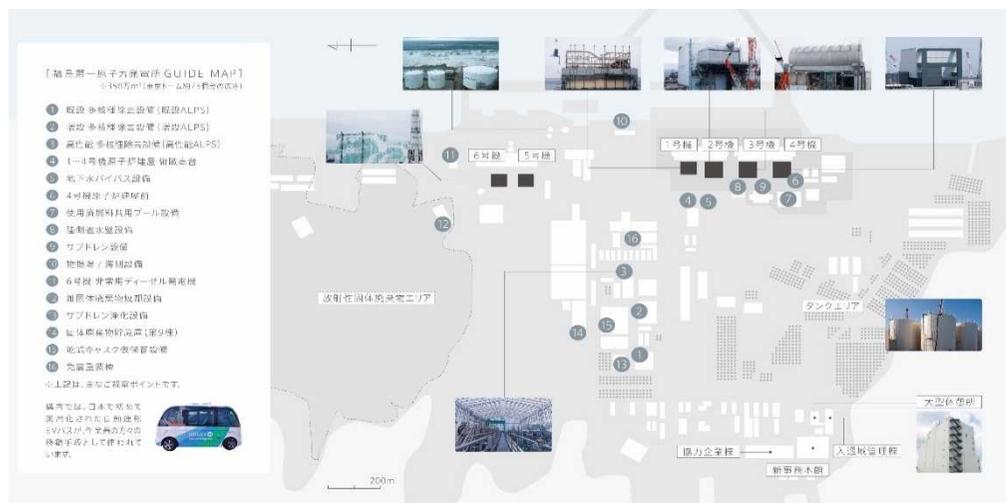


「3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し」  
（2019年4月15日公開）

# 1. 廃炉・汚染水対策に関する情報発信・コミュニケーションについて

## 福島第一視察者向けポケットガイドブックの配布について（2019年3月26日～）

- 福島第一にご視察頂いた方から、「資料が大きくて扱いづらい」、「SNSにあげるための写真をその場でほしい」といった声を頂いていた。
- このため、視察者だけでなく、お持ち帰りの上、ご家族・ご友人にも手に取っていただける、ポケットサイズのガイドブックを制作し配布を開始した。
- ポケットガイドブックには、視察ルートや廃炉に関する設備、取組状況の紹介のほか、福島第一の写真がダウンロードできるWebページをQRコード付きで掲載している。



福島第一視察者用ガイドブック

日本語のほか英語版も作成

### <参考>

- 2018年度視察者実績：18,886人

## 2. 教育界とのコミュニケーション ～ご視察を通じた次世代への理解活動～

- 教育界関係者（教員、大学生など）のご視察対応を継続実施。  
→実績(2016、2017年度)：教育団体・教員・大学生等、74件・1,386名  
2018年度：44件、874名
- 増加する高校生等の視察ニーズに対し積極的な受入実施。  
(保護者ならびに学校長の承諾のもと実施)  
→実績(2016、2017年度)：県内の高校生及び高専生等、4件・37名  
2018年度：13件・103名  
→意見交換会では復興の取り組みや今後のエネルギーのあり方等、活発な質疑が行われ問題意識や意欲の高さが伺えた。
- 今後も教育界と連携を強化し、次世代層の視察受け入れを継続。

### ご案内概要

- 1～4号機外観や凍土遮水壁設備など、視察標準ルートをバス車中より、約50分間にわたり視察
- 併せて、意見交換を実施

#### <視察者の主な感想>

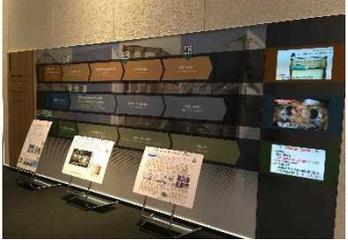
- ・視察前に廃炉資料館の展示物を使って説明を受けたが分かりやすかった。
- ・参加した生徒、教員にとって、たいへん貴重な体験となった。今後の教育活動に生かすとともに、毎年、継続的に視察を行いたい。(学校長の感想)



### 3. 東京電力廃炉資料館 開館後の状況

- 福島原子力事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として2018年11月30日開館。
- 福島第一原子力発電所視察者も含め、福島県内外から2万人超が来館。  
【来館実績：約21,737名（2019年5月31日まで）】
- 来館された皆さまのご意見を踏まえ、展示内容について適宜、改善・充実を図る。

#### 【開館後の展示内容の充実（展示物の更新・追加実績）】

	<p>【追加】 格納容器内デブリ調査パネル</p>		<p>【追加】 一般作業服マネキン</p>		<p>【追加】 事故対応に当たった社員のインタビュー映像（4名）</p>
	<p>【追加】 格納容器内デブリ接触調査動画・パネル</p>		<p>【追加】 エフ・キューブ内福島第一構内画像</p>		<p>【更新】 地域紹介写真（大熊町）</p>
	<p>【追加】 中長期ロードマップ説明パネル</p>		<p>【追加】 周辺市町村線量表示</p>		<p>【追加】 施設紹介ホームページ・動画</p>

## 【参考】風評への対応 ～「発見！ふくしま」キャンペーンの実施～

- 福島県産品の認知度向上と取扱店舗拡大を目的としてキャンペーンを実施(2018年9月～2019年2月)。
- キャンペーン後も定番化の取り扱いを目指し、首都圏の小売店や飲食店での販売促進イベントを継続実施中。

### ◆キャンペーン実績

2019年2月末時点

対象		定番化数※
小売店	米	6社38店舗
	牛肉	0社0店舗
飲食店	牛肉・その他	11社50店舗
合計		<b>17社88店舗</b>

※：1ヶ月以上の常設棚販売を定番化と定義



小売店での販売イベント風景



飲食店フェアのチラシ

### ◆キャンペーン後の活動



小売・飲食店での販売イベント開催

### イベント実施回数

2019年3月～2019年6月末

対象		イベント実施回数
小売店	米	30店舗86回
	牛肉	3店舗9回
飲食店	牛肉・その他	20店舗60回
合計		<b>53店舗155回</b>